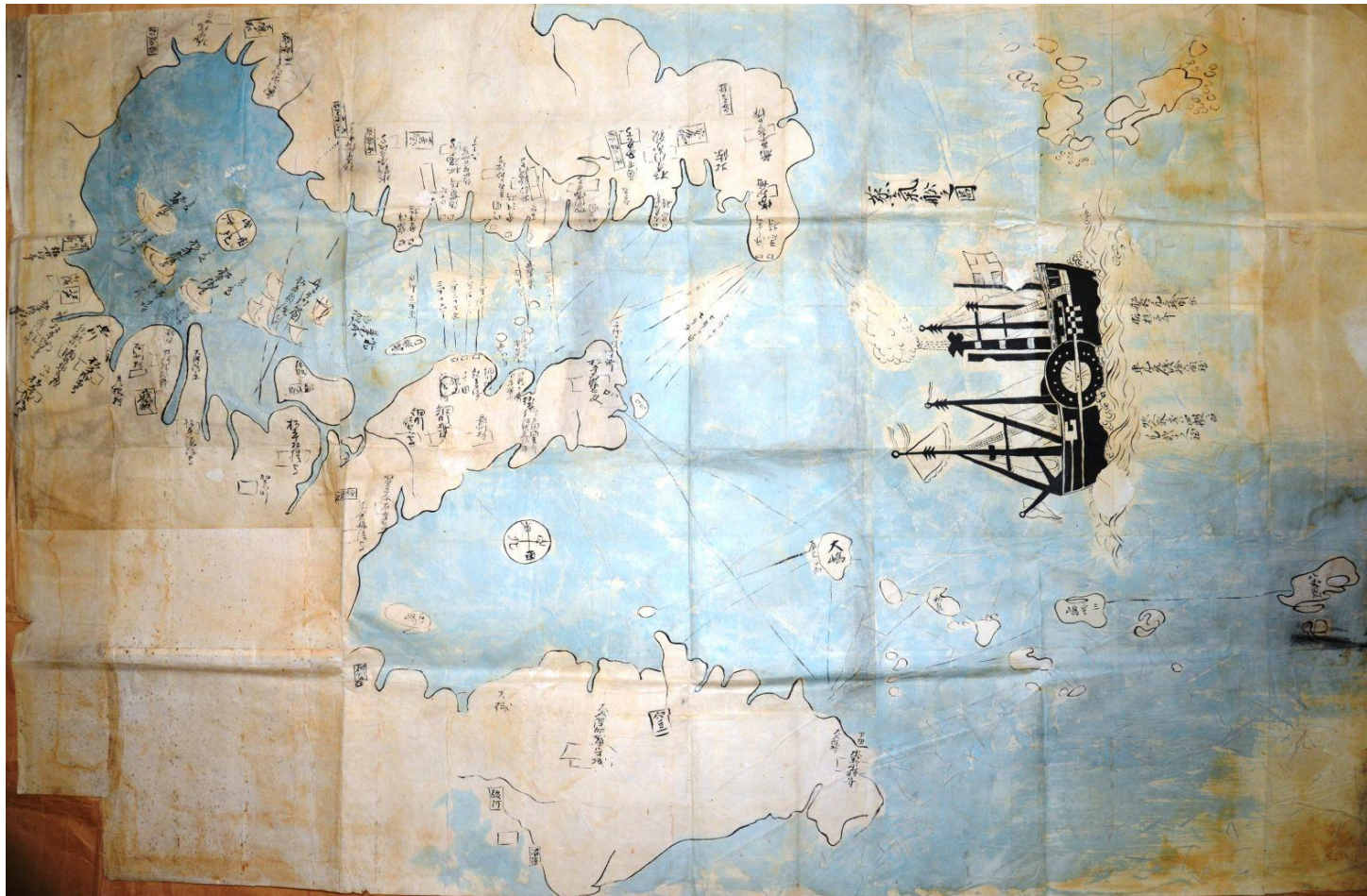




③7 異国船渡来の図 (蒸気船・江戸湾沿岸警備絵図)

嘉永6年(1853)8月
 原本: 縦103.0cm×横66.0cm

ペリー来航以後の諸大名による江戸湾沿岸警備配置のほか、湘南海岸、伊豆半島、伊豆諸島(八丈島以北)、来航した蒸気船などが描かれています。

江戸湾奥には、^{いちばんだいば} 沓番台場(川越藩主・松平誠丸)
 ・^{にばん} 式番台場(会津藩主・松平肥後守)・^{おし} 三番台場(忍藩主・松平下総守)の各面積・高さ、^{はねだ} 羽田の井伊掃部頭(彦根藩)、^{かもんのかみ} 神奈川の松平相模守(鳥取藩)などが記され、^{えつちゅうのかみ} 三浦半島には細川越中守(熊本藩)も見えます。房総半島には、^{きさらず} 木更津に佐貫藩、^{きぬき} 富津に会津藩、^{たてやま} 館山近辺に忍藩の持ち場が読み取れます。



多野郡鬼石町浄法寺(現藤岡市)
 黒崎太朗家文書
 P 8 6 0 3・No. 2 9